

(款) 55教育費 (項) 20社会教育費 (目) 10文化財保護費

◎保護整備の経費

中世歴史調査研究室管理運営事業

文化財課

【総合計画上の位置づけ】

歴史を継承し、文化を創造するまち

歴史環境:豊かな歴史的遺産が大切に保全され、伝統的な文化が保存・継承されているまち

【事業の目的】

対象 中世歴史調査研究室

意図 文化財課の所掌事務の効率化を図り、効率的な成果を得る調査を行うため調査研究機能の暫定整備として開設し、管理運営するため。

効果 中世歴史調査研究室の研究機能の充実を図る。

【事業の内容】

(1) 中世歴史調査研究室管理運営事業

- ・中世歴史調査研究室において、埋蔵文化財の発掘調査、史跡整備事業・埋蔵文化財発掘調査資料・中世鎌倉に関する諸資料の調査・整理を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,636	1,636	1,384		252

主な支出内訳

・中世歴史調査研究室管理運営事業

研究室光熱水費	241
清掃業務委託料	82
敷地内草刈り等業務委託料	298
警備業務委託料	428
パソコン等賃借料	103

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 中世鎌倉に関する調査・研究機能を充実し、文化財を公開・活用・展示できる拠点としての環境を整備する。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 大町釈迦堂口遺跡発掘調査及び発掘調査報告書の刊行に関する資料整理を行った。 史跡永福寺跡環境整備事業に関する資料調査、整備内容の検討を行った。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 中世鎌倉に関する調査・研究機能を充実し、文化財を公開・活用・展示できる拠点の整備に繋げていくための環境・体制を整えていかなければならない。
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) (仮称)鎌倉博物館展示等整備計画に基づく博物館の中の調査・研究部門の機能として充実を図るよう検討を行う。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	A	改善の必要性 有
	中世鎌倉の研究を推進・充実するために、調査・研究機能の充実を図っていく必要がある。				
担当課長氏名:		中 里 一 男			

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	A	改善の必要性 有
	中世鎌倉の研究を推進・充実し、文化財の公開展示・活用するための施設の充実を図っていく必要がある。				
担当部名	生涯学習部	部長名	金 川 剛 文		